

「高校生 ICT Conference 2018 in 高知」を開催 社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化控えて～

総務省が関係省庁とともに共催する「高校生 ICT Conference 2018 in 高知」が平成30年8月14日(火)に高知県立伊野商業高等学校において開催されました。

本行事は大人の準備段階である高校生が情報モラルについて深く考える機会とするもので、高知県内の4校から生徒30人が参加しました。

冒頭、総務省四国総合通信局 竹田 剛城電気通信事業課長の挨拶に続き、ソフトバンク株式会社渉外本部約款サービス部佐治 健史氏からの講演では、最近のニュースを交えながらインターネット利用の際のリスクを説明し、リスクを十分理解すると共に、善悪の判断を身につけて責任のある行動するよう呼びかけました。

グループ討議では、各校混成に組み分けした6つのグループにファシリテーターとして高知大学の学生も加わり「社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化控えて～」をテーマに議論を行いました。その後、社会の一員としてICTを活用する際の心構えや社会をより良くするためのICT利活用方法など各グループが行った議論を提言としてまとめ、プレゼンテーションを行いました。

最後に、高知県立伊野商業高等学校の中村 佳子教諭から「今回のような初対面の人と議論し意見をまとめていくという経験は将来必ず役に立つ。インターネット・スマホを安心して使う方法を周りの人に伝え、今日の経験を今後の生活に活かし、大人になること、社会の一員であることについて考えてほしい。」との全体講評がありました。

この発表内容は、11月3日(土)に東京で開催される「高校生 ICT Conference 2018 サミット」※において報告されます。



グループによる議論の様子



議論の結果をプレゼンテーションする様子

「高校生 ICT Conference 2018 in 高知」 プログラム

1. 開会の挨拶
進行: 高知県立須崎高等学校 大原 信男教諭
挨拶: 総務省四国総合通信局 竹田 剛城電気通信事業課長
2. 第一部: 事業者講演
テーマ: 「インターネットのさらなる利用に向けて」
講師: ソフトバンク株式会社 渉外本部 約款・サービス部 佐治 健史氏
3. 第二部: Conference(グループ討議)
テーマ:
「社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化控えて～」
4. 第三部: グループ発表
5. 全体講評
講評者: 高知県立伊野商業高等学校 中村 佳子教諭

主催: 高校生ICTカンファレンス実行委員会
(構成団体)

共催: 安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁
後援: 高知県教育委員会、高知新聞、一般社団法人全国高等学校、PTA連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、一般財団法人マルチメディア振興センター、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 (順不同)

参加校: 高知県立安芸桜ヶ丘高等学校、高知県立伊野商業高等学校、高知県立岡豊高等学校、高知県立須崎高等学校

※「高校生 ICT Conference 2018 サミット」ホームページ
<https://www.good-net.jp/ict-conference/2018/>

お問い合わせ先
四国総合通信局 情報通信部電気通信事業課 電話 089-936-5042